

ワカモノの元気が モリオカの力になる

チカラ

「好きだから」「楽しいし自分のためになるから」
——。そんな思いでやっていることが、誰かを支えたり、まちに活気をもたらしたりすることがあります。まちづくりは、一部の人間による特別な活動と思われがちですが、**若者の趣味やサークル活動**、

夢を追う活動の中にも、まちを支えるタネは含まれているのです。「自分らしさ」のその先につながる「まちづくり」。それを実践している人や団体を紹介します。あなたの「好きなこと」「楽しいこと」を**まちの力**に変えてみませんか？

子ども青少年課 ☎613-8356

「自分らしさ」×「まちづくり」

もりおかワカモノプロジェクト メンバー 山口桃果さん(22)

「楽しみながら盛岡を元気にする」をモットーに、鉾屋町を中心に活動しています。年2回開催している手づくり市「てどらんご」の企画・運営が主な活動内容。てどらんごは、まち並みを楽しみながら、編み物やアクセサリーなどの手づくり作品に出会うことができるイベントです。
私が加入した理由は、町家の雰囲気やてどらんごの個性豊かな出店者に心惹かれ、客ではない立場で関わってみたいと思うようになったから。鉾屋町という素敵な町で、出身も職業も違うメンバーと和気あいあいと活動できることが何より楽しい！ これからも活動を通して、まちの魅力や人と出会うことの楽しさ、ものづくりの素晴らしさを伝えていきたいです。

☎ 鉾屋町3-15「大慈清水御休み処」内
✉ morioka_wakamono_project@yahoo.co.jp

岩手大 民俗芸能サークル「ばっけ」 メンバー 池田広輝さん(20)

県内外の民俗芸能を踊るサークルです。市の民俗芸能では、主に澤目獅子舞を練習。保存会の皆さんからも指導を受け、ばっけの単独公演や郷土芸能フェスティバルなどで披露しています。
私が入部した理由は、サークルオリエンテーションで見た先輩たちの踊りに一目惚れしたから。特に澤目獅子舞の迫力や緩急のある踊りに感動し、自分も踊れるようになりたいと強く思いました。筋肉痛になるなど練習がきつと感じることもありますが、披露したときのお客さんの笑顔を見ることができると、今後は、岩手大に入学してくる後輩たちにも、民俗芸能のかっこよさを知ってもらいたいです。

☎ 代表の高橋さん
☎090-5597-1871



保存会の声
澤目獅子舞保存会
会長 藤村文明さん
担い手不足で存続の危機にあった澤目獅子舞を救ってくれたのが、ばっけの皆さんです。感謝の思いしかありません。



郷土芸能フェスティバルの様子

先輩から学ぶ

インタビュー ▶▶▶ の仕掛人



(株)盛岡クラブチェンジ
代表取締役社長
黒沼亮介さん(43)

profile
津志田町三出身。市内3つのライブハウスの運営やいしがきミュージックフェスティバルの開催などを通して、盛岡の音楽シーンを盛り上げている

■10代~20代の頃、夢中だったものは？
ロックやパンクミュージックが大好きで、アルバイト代のほとんどをCDやレコードにつぎ込んでいましたね。自身もボーカルとしてバンドを組んでいて、ライブハウスを立ち上げたのも、自分たちが地元で演奏する場が欲しいという単純な理由です。
■いしがきミュージックフェスティバルを始めたきっかけは？
年齢に関係なく心をつなげられる「音楽」というコンテンツで、盛岡のにぎわいを取り戻したかったから。音楽ファンだけでなく、ま

ちの人たちみんなに参加してほしいという思いで、入場料も無料にしました。音楽と盛岡が大好きだからこそ10年以上続けてこられたと思っています。
■盛岡に住む若者へのメッセージ
私は勉強もスポーツも得意ではなく、特別な才能もなかったのですが、これまで失敗や諦めの繰り返しでした。でもそれが今の自分につながっています。失敗を恐れずいろいろなことにチャレンジしてほしいですね。



憧れの大人とつながる場 ▶▶▶ パイセンcafe

■パイセンcafeとは
中・高校生が、岩手で活躍しているパイセン(先輩のこと)から話を聞いたり、意見や思いを交わし合ったりするイベントです。これまでに、女性社長や漫画家などたくさんのパイセンが登場しています。

☎ 年5回程度。日程などはドリーム・シード・プロジェクトのフェイスブックでお知らせします
☎ SoRa cafe(北飯岡一)
☎ 20人 ¥500円(学生は無料)
☎ ドリーム・シード・プロジェクト ☎601-7222



2月14日開催のパイセンは、料理研究家の晴澤雪枝さん。「誰かのために想いやる」をテーマに、料理に込められた誰かの想いに感謝できる心を持ってほしいという話などをしました。



参加者インタビュー

誰かのために行動できる大人に



三上翔夢さん
(飯岡中3年※)
※取材時

パイセンcafeでは、参加するたびに自分とは違う意見や考え方を知ることができると感じました。特に感じたのは、誰かのために行動することはとてもカッコイイということ。自分も、高校生になったら、勉強だけでなくボランティア活動などにチャレンジしてみたいです。

5月1日号の特集テーマは「新年度の予算」です



手づくり市「てどらんご」の様子



まちの声
鉾屋町町内会
会長 石岡昇司さん
面白い企画を提案してくれたり、逆に町内会のお願いに協力してくれたり、今や鉾屋町に無くてはならない存在です。



ダンスの魅力を伝える

Lips Dancers サブリーダー Hanakiさん(20)

スポーツチームはもちろん、企業や地域、団体など県内で頑張っている人々をダンスで応援する活動をしています。今まで、グーグルや盛岡の試合や地域のお祭り、病院、障がい者施設などでダンスを披露してきました。
私がチアダンスを始めたのは高校生のとき。高校野球の応援で、かわいいユニフォームを着てキラキラの笑顔で踊る姿に強く憧れたのがきっかけです。もっとかっこよく踊れるようになりたいと思い、Lips Dancersに加入しました。ダンスの魅力は、言葉を発しなくても自分の体で思いを表現できること、何よりかっこいいところ！ 見てくれる人に、たくさんの笑顔と元気を与えられるチームを目指し頑張ります。

☎ 肴町8-12(スタジオ)
✉ lips.f.dance@gmail.com



都南あけぼの荘でのダンス披露の様子

依頼者の声
都南あけぼの荘
介護士 永島考治さん
デイサービスに通う皆さんを元氣付けたいと思い依頼。パワフルなダンスに、みんな手拍子をして喜んでいました。



文学フリマ岩手事務局 副代表 小田原聖さん(33)

文学フリマとは、全国各地で開催されている文学作品の展示即売会です。自費出版の書籍やホチキスでとじたコピー誌など、本屋でも通販でも出会えないさまざまな形の文学が一堂に介し、展示・販売されます。
私自身、本が好きで、中学3年の頃から趣味で小説などを書いていました。大学生のとき文学フリマ東京に初出店。お客さんや他の出店者との交流が楽しく、「岩手でもやりたい！」と勢いで平成28年に初開催。東北で初めての文学フリマでした。今年の6月9日(日)には第4回開催も決定。文学の楽しさはもちろん、全国から来る皆さんに、多くの文学者や名作を生んだ岩手の魅力も伝えたいと思っています。

☎ iwate@bunfree.net



出店主の声
いわて故郷文芸部「ひつつみ」
(詩歌ジャンルで出店)
第2回から出店。全国から集まる人たちの出会いが何より楽しく、刺激になります。イベント終了後、仲良くなった人と盛岡の喫茶店で歌会をすることもあります。



まちの魅力アップ

岩手にまつわる文学的背景をテーマにした作品集「ハートワウの夢列車」を事務局で発行・販売しています

市の取り組み //

アイデアでまちをアップデート

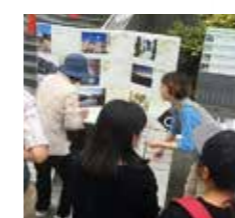
市は、昨年の6月から3月まで「地域福祉人材育成講座」を開催。高校生や大学生と大人がグループになって地域の課題を発見し、その解決策を探し出しました。

こんなこと、やりました!

■フィールドワーク
市内4地区(みたけ・築川・社陵・飯岡)の住民などから、地域の魅力や資源、課題などを聞き取りました



■社会実験
子育てサロンや写真コンテスト、高校生向けアンケートなど、地域課題を解決するためのアイデアを実践し、結果を検証しました



■発表会
各グループが解決策を提案。親子間の交流や地域資源を生かしたイベントなど、さまざまな案が出されました



参加者インタビュー

地域に大切なのは「深いつながり」



五十嵐優姫さん
(盛岡一高2年※)
※取材時

フィールドワークで築川地区に行き、人と人とのつながりがそのまちに住む楽しさにつながっていることを学びました。講座を続けるうちに、地域に必要なのは互いに悩みを相談したり、心のよりどころになったりする存在ではないかと思うようになり、地域で回す交換ノートを考案。私自身も、これまで地域に関わることに壁を感じていましたが、まずはあいさつなどから始めたいです。

市長コラム

盛岡市長 藤松 明

私のワカモノ時代は、とにかく剣道に明け暮れる日々。大学時代は、わずか9人の選手枠を巡って、約120人の部員がしのぎを削っていました。厳しい練習の毎日でしたが、全国各地から集まった仲間と出会えたことは自分の宝になっています。大学4年のとき、団体戦で自校が劣勢から逆転勝ちし、優秀選手に選ばれた大会が思い出深いですね。

盛岡にも、個性を発揮して自ら行動・発信する若者が増えてきていると感じています。何度失敗してもくじけることなく、不屈の精神でまた起き上がればいい。その勢いでぜひ盛岡の未来を築いてほしいと思います。



若者へのメッセージです